

令和元年9月20日

市政記者各位

福岡市美術館

企画展「仙厓せんがい—小西コレクション」

ゆるかわな魅力で大人気！初公開作品を多数含む企画展で
「博多の仙厓さん」の新たな一面に迫ります！

福岡市美術館では、企画展「仙厓—小西コレクション」を開催します。仙厓義梵（せんがい ぎぼん 1750～1837）は、日本最初の禅寺である聖福寺の住職を務めた禅僧です。親しみやすい書画を通して禅の教えをわかりやすく伝えたことから「博多の仙厓さん」と呼ばれ人々に慕われました。

本展では、2016年度に小西昭一氏よりご寄贈いただいた、仙厓の書画および遺愛の品々55点をご紹介します。つきましては、広報にご協力いただきたく、よろしくお願いします。

展覧会

企画展「仙厓—小西コレクション」

会期	令和元年10月1日（火）～12月1日（日）
開館時間	午前9時30分～午後5時30分 ※10月の金・土曜日は午後8時まで開館（入館は閉館の30分前まで）
休館日	毎週月曜日 ※ただし10/14（月・祝）、11/4（月・振休）は開館。10/15（火）、11/5（火）は休館
会場	福岡市美術館1階 古美術企画展示室
観覧料	コレクション展観覧料に含まれる。 （一般200円、高大生150円、中学生以下無料）



仙厓義梵筆 《すす玉名人図》

関連事業

つきなみ講座特別編「小西コレクションとその魅力」

日時	令和元年10月19日（土）午後3時～午後4時30分
講師	宮田太樹（当館学芸員）
会場	福岡市美術館1階レクチャールーム
参加費	聴講無料。要観覧券、先着順（30分前より受付開始） ※講座中、ギャラリートーク（要観覧券）も実施します。



仙厓義梵筆 《双狗図》

企画展「仙厓—小西コレクション」および関連事業の詳細は次頁チラシをご覧ください。

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館運営部 学芸課（担当：宮田、岩永）

問合せ：092-714-6054



仙厓のすべてを愛したコレクター

企画展

仙厓

Sengai

小西コレクション

ふたろ湯桶佛



2019年

10月1日|火|-12月1日|日|

開館時間 午前9時30分～午後5時30分

10月の金・土曜日は午前9時30分～午後8時（入館は閉館の30分前まで）

休館日 月曜日（ただし10月14日（月・祝）、11月4日（月・振休）は開館、10月15日（火）、11月5日（火）は休館）

主催 福岡市美術館



福岡市美術館

古美術企画展示室（1階）



お問い合わせ

福岡市美術館 / TEL 092-714-6051 FAX 092-714-6071

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

www.fukuoka-art-museum.jp



福岡市美術館

せんがいぎぼん

仙厓義梵（1750～1837）は、日本最初の禅寺である聖福寺の住職を務めた禅僧です。親しみやすい書画を通して禅の教えをわかりやすく伝えたことから「博多の仙厓さん」と呼ばれ人々に慕われました。そのため、福岡・博多では地元の文化人や実業家による優れた仙厓コレクションが数多く形成されました。福岡市で証券会社を経営されていた小西友次郎氏が収集し、去る2016年度にご子息の昭一氏よりご寄贈いただいた作品群もその1つです。寄贈を記念して開催する本展は、これまでまとまった形で紹介されたことがなかった小西コレクションの全容を示す初の機会です。55点に及ぶ小西コレクションの最大の特徴は、その幅広さにあります。画業の初期に描かれた謹直なスタイルの禅画から晩年のゆるくてかわいい動物たち、そして、茶器や文房具などの日用品も含んでおり、仙厓のすべてを知りたいと願ったコレクターの思いが伝わってきます。本展を通して博多の仙厓さんの新たな魅力に触れてください。

観覧料金 コレクション展・企画展

一般 ——— 200円（150円）

高大生 ——— 150円（100円）

中学生以下 — 無料

※（ ）内は20名以上の団体料金。

※観覧券購入の際、交通系ICカード及びLINE Payがご利用いただけます。

観覧料の免除

次の方は無料で観覧いただけます。展示室入口にて以下の証明書等をご提示ください。身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳（以上は介護者1人を含む）／特定医療費（指定難病）受給者証／特定疾患医療受給者証／先天性血液凝固因子障害等医療受給者証／小児慢性特定疾病医療受給者証／福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上は住所と生年月日がわかるもの（健康保険証、運転免許証等）



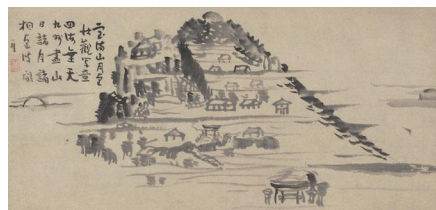
交通案内

【地下鉄】 空港線 大濠公園駅（福岡市美術館口）下車、徒歩10分
七隈線 六本松駅下車、徒歩10分

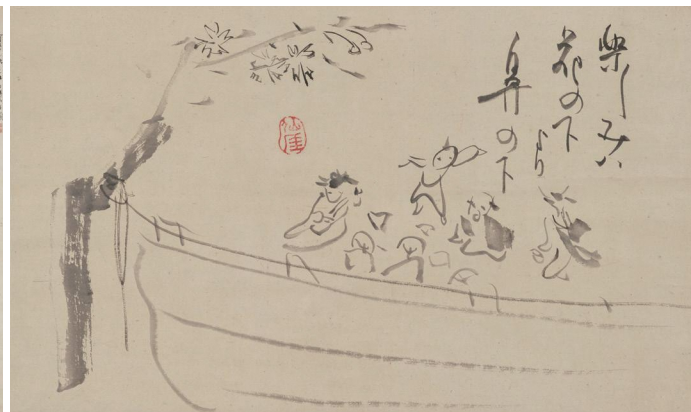
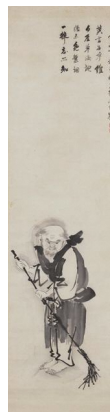
【西鉄バス】 [系統番号13・140] で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分
[系統番号6・7・12・113・114・200～206・208] で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分
[系統番号6-1] で「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分

【車】 福岡都市高速「西公園ランプ」から5分
福岡市美術館専用駐車場（有料：1時間/200円）

1.《宝満山図》



2.《猪図》



3.《香巖撃竹図》4.《花見図》

※1～5、全て仙厓義梵（1750～1837）筆

仙厓 — 小西コレクション



5.《親子和尚図》



6. 仙厓自作の香合



7. 仙厓遺愛の茶碗



8. 仙厓遺愛の書鎮
正木宗七幸弘（1774～1842）作

つきなみ講座特別編
「小西コレクションとその魅力」

10月19日（土）午後3時～午後4時30分
会場：1階レクチャールーム
料金：要観覧券、先着順（30分前より受付開始）
定員：54名
講師：宮田太樹（当館学芸員）
講座中、ギャラリートーク（要観覧券）も実施します。

担当学芸員によるギャラリートーク

10月12日（土）、11月17日（日）、24日（日）
各日午後3時～午後4時
会場：1階コレクション展古美術企画展示室
料金：要観覧券
聴講ご希望の方は、開始5分前に、1階コレクション展示室（古美術）入り口にお集まりください。

筑前琵琶演奏会

10月26日（土）午後5時～午後6時30分
会場：1階ミュージアムホール
料金：参加無料、先着順（30分前より開場）
定員：180名
出演：尾方蝶嘉（筑前琵琶奏者）
共催：（公財）福岡市文化芸術振興財団

筑前琵琶は明治時代に福岡で生まれ、仙厓さんと同じく人々から愛されてきた楽器です。展覧会にちなんで、仙厓さんの生涯をモチーフにした楽曲「仙厓義梵」を中心に琵琶の演奏をお届けします。音と語りで掘り下げる「人間・仙厓」の魅力と筑前琵琶の世界を存分に堪能ください。

尾方蝶嘉（おがたちょうか）

嶺清流筑前琵琶保存会 師範。筑前琵琶 嘉の会主宰。日本琵琶楽協会会員。西南学院大学法学部卒。洗足学園音楽大学附属現代邦楽研究所卒。筑前琵琶を嶺旭蝶、青山旭子に師事。琵琶による現代邦楽を田原順子に師事。古典を深めると共に、様々な題材の中に人間の「情」を見出し、生きる力・美しさ・力強さを持つ作品の創出を目指している。福岡県出身、福岡市在住。